



2015年3月17日

会社名 住友化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 十倉 雅和
(コード番号 4005 東証第1部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室(広報)
部長 安藤 洋
(TEL 03-5543-5102)

ペトロ・ラービグ社のラービグ第2期計画に関する プロジェクト・ファイナンス契約調印について

住友化学とサウジアラビアン・オイル・カンパニー（サウジ・アラムコ社）が主要株主として出資しているラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー（ペトロ・ラービグ社）は、既存の石油精製・石油化学統合コンプレックスの拡張計画（第2期計画）に関し、このほど銀行団との間で、融資契約上のプロジェクト・コスト約81億米ドル^{*1}の6割強にあたる約52億米ドル^{*2}のプロジェクト・ファイナンス契約を締結いたしました。

本プロジェクト・ファイナンスは、政府系金融機関である日本の国際協力銀行（JBIC）とサウジアラビアのパブリック・インベストメント・ファンド（PIF）を中心に、両国および欧米の金融機関19行をメンバーとする幹事銀行団から、ペトロ・ラービグ社が融資を受けるものです。JBICからは約20億米ドル、PIFからは13億米ドルの融資を受けます。また、本プロジェクト・ファイナンス組成にあたっては、三井住友銀行およびサウジ・ブリティッシュ・バンクをファイナンシャル・アドバイザーに起用いたしました。

ペトロ・ラービグ社は、第2期計画において、新たに確保する30百万立方フィート／日のエタンと、約3百万トン／年のナフサを主原料に、エタンクラッカーの増設や芳香族プラントの新設を通して、付加価値の高いさまざまな石油化学製品を生産いたします。本計画では、住友化学や他社の最新鋭の技術を導入し、既存の第1期計画との相乗効果を追求するとともにサウジアラビアにおけるさらなる雇用創出と産業多様化にも貢献してまいります。

なお、本計画の設備につきましては、2016年前半から順次稼働させていく予定です。

※1 建設期間中の金利など、設計・調達・建設（EPC）以外のコストを含む。

※2 一部サウジリアル建て融資を含む。

以上

別紙：幹事銀行団リスト

(別紙)

幹事銀行団リスト

インターナショナル・バンク

三井住友銀行

三井住友信託銀行

みずほ銀行

三菱東京UFJ銀行

農林中央金庫

Citibank N.A.

HSBC Middle East Ltd.

Credit Agricole-CIB

BNP Paribas S.A.

イスラム系金融機関

Riyad Bank

Islamic Development Bank

Alinma Bank

Al Rajihi Bank

Banque Saudi Fransi

The National Commercial Bank

Samba Financial Group

The Saudi British Bank

Arab National Bank

APICORP